倉掛新聞

〈発行所〉
倉掛自治連合会
井原市井原町倉掛
会長／片岡秀憲
〈編集〉
倉掛自治連合会
倉掛少年団育成会
消防井原分団第３部

倉掛少年団 資源回収

資源活用学ぶ

協働効果で連帯感育む

倉掛少年団の前期資源回収＝写真＝が6月6日、団員及び育成会員ら約40人が参加して行われた。

午前8時、JA晴れの国岡山の駐車場に集まった団員らを前に、高橋宏真育成会長が「怪我をしないよう頑張りましょう」と呼び掛け、徒歩で佐藤物産（株）の倉庫へ。

同社に着くと佐藤高志社長から「資源再利用の大切さを学んでください」と挨拶があり、その後、5台のトラックに分乗し、回収を開始した。紙類やびん類などを混載したトラックが集積所へ戻って来ると団員らは手際よく分別。

この日の天候は曇り。途中から自治連合会のボランティアも加わって、作業は順調に進んだ。家々の前に出された多くの資源を予定通り回収した団員らは、協働効果もあって連帯感を育んだ。

第３部が暗渠清掃

井原分団第３部が定例試運転日の６月６日、管轄する倉掛及び夏目両地区の暗渠（あんきょ）清掃を行った。

これは自治連合会の要請で毎年実施

している清掃活動。団員らは午前６時１０分から和原賢一部長の指揮で大西歯科医院前、続いて倉掛公園北、広島銀行北の暗渠や深い側溝などに堆積した土砂の除去作業に汗を流した。

街をきれいに

自治連 側溝土砂回収

公共下水道整備後は側溝に堆積する土砂も減少しているが、溝掃除は身近な環境保全活動

倉掛地区全域溝掃除によって土のう袋に入れられた土砂の回収が6月6日、自治連合会によって行われた。

役員は地区民の協力を得て、午前8時前から道路脇に置かれた土砂を4台の軽トラックで回収。井原市市民活動推進課が手配したダンプカーに井原大橋下で積み替え、袋から土砂を取り出す作業などを1時間30分程度行い、約4トンを市の処分場へ搬送した。

緊急事態宣言 諸団体に影響

つどえ～る休館

緊急事態宣言が6月20日をもって解除され、井原市内の公共施設も再開した。

新型コロナウイルス感染拡大防止策として5月16日～同31日、岡山県など10都道府県に緊急事態宣言が発令され、その後、6月20日まで延長となった。

このため井原市内でもアクティブライフ井原や市民会館、井原体育館、各地区の公民館といった公共施設の多くが一カ月以上にわたって休止・休館へ。井原市市民活動センター・つどえ～るを活動拠点としている諸団体も同施設を利用できなくなった。

サロンあすは活動再開

しかし宣言解除後、倉掛のサロンあすはでは、新型コロナウイルス感染者数が減少していることから、十分な感染症予防対策を講じて7月29日の絵手紙教室より活動を再開させる方針。

つどえ～る関係者は「ご不便をお掛けしておりますが、ご理解を賜りたい」と話すとともに、ワクチン接種の効果に期待を寄せている。

「体験してみませんか」

つどえ～るで手話講座

井原市では2018年4月に手話言語条例を施行。手話は言語であるとして、広く市民へ理解を求めるとともに、普及促進に力を注いでいる。

つどえ～るでは2015年より毎年、無料体験講座を実施しており、今年も7月と8月の2回開催予定。詳しくはつどえ～るへ。（電話62－9090）

SDGsで地域力アップ

持続可能な17の開発目標　課題解決へ有効活用を

SDGs「エス・ディー・ジーズ」（Sustainable Development Goals）とは、2015年に国連で定められた持続可能な17の開発目標。

2030年へ向けた指針には、個別に169のターゲットも掲げられ、円形のバッジや文言を見聞きすることも多くなりました。

また、地域が抱える課題の解決方法を考えるとき、トレードオフ（何かを得ると何かを失う一得一失）を念頭に置き、17の開発目標をヒントにすることで、様々な事業計画が立てやすくなるでしょう。

近年は企業のイメージアップにもこのSDGsが多く活用されています。

（NPO法人市民交流ネットワーク井原）

１７の開発目標	
①	貧困をなくそう
②	飢餓をゼロに
③	すべての人に健康と福祉を
④	質の高い教育をみんなに
⑤	ジェンダー平等を実現しよう
⑥	安全な水とトイレを世界中に
⑦	エネルギーをみんなに　そしてクリーンに
⑧	働きがいも経済成長も
⑨	産業と技術革新の基盤をつくろう
⑩	人や国の不平等をなくそう
⑪	住み続けられるまちづくりを
⑫	つくる責任　つかう責任
⑬	気候変動に具体的な対策を
⑭	海の豊かさを守ろう
⑮	陸の豊かさも守ろう
⑯	平和と公正をすべての人に
⑰	パートナーシップで目的を達成しよう

インドネシアという国

いきいきコーナー

倉掛自治連合会

防災広報広聴部長　佐藤謙治

インドネシアと聞いて皆さんはどのようなことを連想されるでしょうか。

東南アジアの国、バリ島がある国、外国人技能実習制度で働きに来ている人たちの国などでしょうか。あまり身近ではない国であることは確かでしょう。

ではなぜ、インドネシアのことを聞いているかというと、私は今から20年前インドネシアジャカルタへ４年間赴任していたためです。この時、経験したことをご紹介したいと思います。

インドネシア共和国は首都：ジャカルタ（人口１千万人）、全人口２億６千万人、インドネシア語、マレー系民族（300種族）、イスラム教（９割弱）、面積は日本の５倍、東南アジア南部に位置し、赤道をまたぎ約１万４千の島々からなる東西５千㎞の国です。ちなみに日本からインドネシアまでの距離は約４千㎞、直行便で7時間を要します。

気候は、乾季と雨季に分かれ、雨季11～３月、突然降り出し、さっと止むスコールです。４月～10月の乾季は、ほとんど雨が降らず湿度も低いので過ごしやすい。気温21～33度、平均気温は28度と１年の中で大きく変動することはありません。

ちなみに、日本の猛暑（35～36度以上か）に比べ確実に気温は低く、まだ我慢できます。簡単に言うと１年中夏で、日本のような衣替えはしなくてよくTシャツがあれば過ごせます。

食事ですが、インドネシア料理もたくさん食べました。基本、唐辛子辛い料理が多いですが、全般的に日本人に合う味付けと思います。

ナシゴレン（焼きめし）、ミーゴレン（焼きそば）、バクソー（インドネシア風ラーメン）、サテアヤム（焼き鳥）などな ど思い出しただけでも「食べたい」。

一方治安ですが、日本を基準にすると安全な国はほとんどありません。インドネシアに限らず海外では、危険・被害に遭遇する行動を取らないことが基本です。

最後に、インドネシアは日本と比べるとかなり違うところはありますが、非常に面白い魅力的な国です。新型コロナ終焉後、機会あれば是非行かれてはいかがでしょうか。

第７１回　社会を明るくする運動

「ありがとう」その一言で生まれる笑顔

《主唱・法務省》

犯罪や非行を防止し

立ち直りを支える

地域のチカラ

主催：井原地区保護司会

つどえ～る　フォトコン

つどえ～るでは「家族と緑のカーテン」をテーマに“SDGsつどえ～る写真コンテスト”を実施します。ゴーヤと家族の笑顔を重ね合わせた心温まる作品をお寄せください。

◇　◇

【応募規定】
- 井原市在住か勤務の方に限ります
- 一人２点以内（応募費は無料）
- サイズはＡ４・四つ切・ワイド四つ切

【応募方法】
- 受付期間：９月１日～９月２０日
- 申込窓口：つどえ～る事務局 62-9090

【発表＆表彰】
- ９月下旬に本人へ通知します
- 金銀銅賞の表彰は１０月３日日

【作品展示】
- とき：１０月３日～１０月３１日

【主催】
- 井原市市民活動センター　つどえ～る
  ※応募用紙及び問合せはつどえ～るへ

倉掛ほっと情報

■倉掛PC･アジサイ観賞会（6/17）

倉掛パソコンクラブの１２人が６月１７日、欅の杜に隣接する坂口要さん（井原市門田町大谷）が個人で整備したアジサイ園を訪問。ケヤキ林の木漏れ日に浮かぶアジサイ約１０００株の美しさを堪能した。

◆行事予定◆

7/ 4	日	井原分団第３部試運転日
7/ 4	日	郷社一斉清掃　午前８時～
7/10	土	郷社新講第２回意見交換会
7/11	日	つどえ～る手話体験講座①
7/17～18		倉掛少年団キャンプ（高梁自然公園キャンプ場）
7/17	土	倉掛自治連合会 役員会＆防犯パトロール
7/18	日	欅の杜の市（門田町大谷）
7/26	月	倉掛少年団ラジオ体操 7/26～8/8
7/29	木	サロンあすは（絵手紙教室）
8/ 1	日	井原分団第３部試運転日
8/ 1	日	郷社一斉清掃　午前８時～
8/ 8	日	倉掛少年団夏季清掃奉仕作業
8/21	土	倉掛自治連合会 役員会＆防犯パトロール

※つどえ～るカフェはコロナ禍のため休止中
※つどえ～る金曜朝市はコロナ禍のため休止中